

HAT CROSS

神戸赤十字病院広報誌
2016 vol.37

より質の高い 医療の提供を

神戸赤十字病院 院長

田原 真也



本年4月1日から院長に就任しました田原真也です。初代院長小川恭一先生と2代目院長守殿貞夫先生には病院顧問として、3代目小澤修一前院長には名誉院長としてご指導をいただいております。

平成7年の阪神淡路大震災後、国内外からの支援のもと復興が進む中で、平成15年に神戸赤十字病院と兵庫県災害医療センターとが同じ敷地内に同時に開院しました。災害医療センターが高度救命救急センターとして、赤十字病院が二次救急および一般急性期疾患を担当して、あたかも車の両輪のように協力しあって発展してまいりました。



近年、病院の機能分類が政府の指導で進められています。急性期疾患を扱う病院と長期療養型病院に大きく分かれます。災害医療センターも神戸赤十字病院も

急性期型の病院に属します。

神戸赤十字病院の運営理念は「地域に選ばれる病院」です。地域の要望に的確にこたえるべく、改革進化を続けます。一昨年、小澤前院長の発案で、センター制を導入しました。これは主として臓器別に各疾病ごとに外科、内科を問わず、関係する専門各科がそれぞれの知識・技術を持ち寄って、集学的治療を行うことを目的としています。実際、その診療内容は大学の付属病院など大型病院にも劣らぬ密度で成果をあげています。具体的には脳卒中、心臓血管、呼吸器、消化器、血管内ステント治療、脊椎四肢外傷治療、形成創傷治療、ER総合診療、の各センターを擁しています。

持てる機能が十分発揮されるためには、時間的にも経済的にも無駄のない診療体制が必要です。質の高い診療が本当にその治療を必要とする疾患に迅速に提供されるよう、体制の整備を進めています。4月からは外来診療ブースを増やして、臓器・疾患別の迅速な受け入れと初療が可能になりました。地域のかかりつけ医や前医からの情報もロスタイムを省くために非常に役立ちます。地域連携室は患者さまとの直接の連絡や、かかりつけ医との密接な連携を計りながら、適切な外来予約を行い、それぞれの疾患に最も適した治療がより早く、正確に提供できる体制を整えています。

神戸赤十字病院は人道・博愛の赤十字精神のもと、地元HAT神戸に深く根を下ろした高機能病院として、地域住民に支持されるよう努力を続けます。当院の使命と体制をご理解頂いて、その機能を存分にご利用頂くことを切に希望いたします。



もう…、
まだ…。

—熊本地震救護班派遣—



この度の地震で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。
東日本大震災からもう5年、まだ5年しか経っていないのに、またしても地震災害が起きてしまいました。

4月14日の前震、4月16日の本震と二度にわたる大きな地震により、被災者の方々がかなりの恐怖感をお持ちであることは、現地に赴きすぐに理解できました。避難所を巡回すると許容範囲を超える数の避難者の方がおられ、ありえない場所にまでダンボール、毛布を敷きつめ自分たちの避難場所を確保されていました。なかなか収まらない余震への恐怖のために、夜間は家に帰ることができず避難所駐車場の車中で夜を明かす方も多く、その方々も車を停める場所の確保を昼間からしているような状況でした。

そういった中、当院からも本震が起きた4月16日の初動救護班を皮切りに4班の救護班と、本部支援、病院支援、こころのケアコーデイネーターといった役割分化した要員が現地に派遣されました。

救護班は本部運営、避難所アセスメント、避難所救護所診療等々多種多様の業務を行わせていただきました。新潟中越地震、東日本大震災の時もそうだったように、『神戸から来ました。』と挨拶すると、多くの方が『あの神戸からよく来てくれました。』とお礼を言うてくださいました。(被災地) 神戸の赤十字(病院)という名前の大きさを痛感した次第です。20年経った今でも阪神淡路大震災の被害の大きさが、人々の記憶に残っているのでしょう。

我々がその名に恥じぬように災害救護活動ができたのも、過去に被災した経験をもとに日頃から研修会、訓練等で研鑽し、さらには留守を守ってくれる上司、同僚をはじめとする病院全職員の協力があつてのものだと改めて感じました。

神戸赤十字病院

医療社会事業部長

日本赤十字社兵庫県支部

災害医療コーディネーター

岡本 貴大

熊本地震 救護班 派遣者名簿

救護班	神戸赤十字病院						
	派遣期間		活動場所	★班長 ☆看護師長 ○こころのケア担当			
	出発日	帰着日		医師	看護師	主事	薬剤師
第1班	H28.4.16 (土)	H28.4.20 (水)	益城町	★岡本貴大	☆坂根千絵 ○菊川佳代 高松里香	高本浩路 岡田浩明 中田正明 安部史生	堀部正記
第3班姫路救護班の 医師応援	H28.4.19 (火)	H28.4.23 (土)	益城町エミナース	戸田一潔			
本部支援要員	H28.4.23 (土)	H28.4.28 (木)	熊本県支部	岡本貴大		安部雅之	
こころのケア コーディネーター	H28.4.25 (月)	H28.5.1 (日)	熊本県支部	村上典子			
第5班	H28.4.25 (月)	H28.4.29 (金)	益城町 26日総合体育館 27日エミナース車 中泊調査	★原淑恵 佐藤淳哉	☆野村美智子 矢田貝直樹 重田真澄	里山恵代 山本健太	池井健
病院支援要員 看護師	H28.4.29 (金)	H28.5.4 (木)	熊本赤十字病院		☆岡田亜紀 伊賀陽子		
第9班	H28.5.7 (土)	H28.5.11 (水)	南阿蘇	★白坂大輔	☆葛島信乃 久一祥子 熊谷友希 ○横山杏花	西海哲也 静観雅子	安藤和佳子
病院支援要員 看護師	H28.5.11 (水)	H28.5.25 (水)	熊本赤十字病院		山本友香 片岡かおり		
こころのケア アドバイザー	H28.5.13 (金)	H28.5.15 (日)	熊本県支部	村上典子			
救護所撤収班	H28.5.19 (木)	H28.5.20 (金)	益城町			山岸雄幸 岡田浩明 山本健太	
病院支援要員 看護師	H28.5.23 (月)	H28.6.6 (月)	熊本赤十字病院		☆須川京子		
こころのケア アドバイザー	H28.5.27 (金)	H28.5.29 (日)	熊本県支部	村上典子			
こころのケア コーディネーター	H28.6.11 (土)	H28.6.12 (日)	熊本県支部	村上典子			



基本方針

1. 患者さまの人権と意思を尊重し、根拠に基づいた、安心と満足が得られる医療を提供します。
2. 地域医療機関と連携して、地域全体で一貫した医療を提供します。
3. 救急医療、災害救護・国際救済活動を行います。
4. 内外の医療従事者の育成に努めます。
5. わたしたちは、日々研修・研鑽し明るく活力ある職場づくりに努めます。

神戸赤十字病院「患者の権利に関する宣言」

- 神戸赤十字病院は、医療の中心は患者さまであり、医療行為が患者さまと医療関係者との信頼関係の上に成り立つものであることを深く認識し、ここに、「患者の権利に関する宣言」を制定いたします。
- 当院の全職員は、この「患者の権利に関する宣言」を守り、患者さまの医療に対する主体的な参加を支援してまいります。
1. 一人の人間として、その人格・価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。
 2. だれでも、どのような病気にかかった場合でも、良質な医療を公平に受ける権利があります。
 3. 病气、検査、治療、見直しなどについて、わかりやすい言葉や方法で、納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。
 4. 十分な説明と情報提供を受け、納得したうえで、検査や治療方法などを自分の意思で選ぶ権利があります。
 5. 自分が受けている診断や治療について、他の医師の意見を求める権利があります。(セカンドオピニオン)
 6. 自分が受けている医療を知るために、診療記録の開示を求める権利があります。
 7. 研究途上にある医療に関して、目的や危険性などについて十分な情報提供を受けたうえで、それを受けるかどうか決める権利と、何らの不利益を受けることなくいつでも中止を求める権利があります。
 8. 診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされず、乱されない権利があります。

神戸赤十字病院 外来診療担当医表 (患者さま用) (平成28年6月1日現在)

神戸赤十字病院 TEL:231-6006
 予約センター TEL:241-9273(平日8:30~17:00)
 救急外来 TEL:241-9295

科目		月	火	水	木	金
診療受付1	整形外科 リハビリテーション科	午前	伊藤康夫	戸田一潔	伊藤康夫	戸田一潔
			尾崎修平	菊地 剛	中後貴江	尾崎修平
			水田宜良	武田和也	松宮 豊	山下良祐
			山下良祐	/	水野正一郎(再診)	/
	脳神経外科	午前	山下晴央	担当医(初診)	原 淑恵	山下晴央
		午後	/	/	/	石井大嗣(第1・3週) 林 成人(第2・4・5週)
	心臓血管外科	午前	築部卓郎(初診予約)	築部卓郎	担当医(初診予約)	岡田泰司
	呼吸器外科	午前	阪本俊彦	/	阪本俊彦	/
		午後	土井健史	/	土井健史	/
	外 科	午前	石堂展宏	門脇嘉彦	石堂展宏	岡本貴大(肛門ストマ外来)
		午後	岡本貴大	久保田暢人	河本 慧	田村竜二
診療受付2	内科(総合)	午前	杉本啓介	川島邦博	土井智文	梶本和宏
		午後	/	(庄野阿侑)	長尾佳映	(坂井 淳)
	内科	午前	國定浩一	横山祐二	川島邦博	森本太郎
		午後	/	/	國定浩一	横山祐二
	消化器内科	午前	岩橋泰幸(糖尿)	/	/	伊賀真紀子
		午後	藤井正俊	白坂大輔	藤井正俊	黒田浩平
		午前	嶋本有策	長野秀信(再診)	黒田浩平	郡山隆志
		午後	/	宮崎はる香	/	/
	呼吸器内科	午前	梶本和宏	杉本啓介	田中隆一郎	杉本啓介
		午後	/	上田裕介	/	上田裕介
	麻酔科	午前	担当医	担当医	担当医	担当医
		午後	土井智文	土井智文	五十嵐宣明	政野智也
	循環器内科	午前	土岐啓己	庄野阿侑	/	坂井 淳
		午後	/	/	佐藤淳哉	ベスメーカー外来(第2・4週)
診療受付3	小児科	午前	住永 亮	下竹敦哉	担当医	下竹敦哉
		午後	住永 亮(アレルギー)	予防接種・乳児健診	/	下竹(発達行動外来)第2・4週
	眼 科	午前	宮崎茂雄	宮崎茂雄	宮崎茂雄	宮崎茂雄
		午後	東 多永子	/	/	/
	形成外科	午前	時吉貴宏	小川晴生	田原真也(予約制)	上田美怜
		午後	/	上田美怜(レーザー外来)	時吉貴宏	小川晴生
	皮膚科	午前	中野英司	/	/	福永 淳
		午後	木下佳久	木下佳久	松井 隆	野瀬隆一郎
	泌尿器科	午前	/	/	/	守殿貞夫(予約制)
		午後	/	/	松井 隆	野瀬隆一郎
診療受付4	耳鼻科	午前	下田 光	土井清司	下田 光	/
		午後	土井清司(予約制)	下田光(予約制)	土井清司(予約制)	/
	婦人科	午前	佐藤朝臣	辻野太郎	辻野太郎	山中良彦
		午後	山中良彦	/	/	/
	放射線科	午前	杉本幸司(再診)	/	森 岳樹	林 和宏
		午後	担当医(初診)	/	/	/
	受放射線	午前	/	原田(治療初診・再診)	/	/
		午後	/	/	/	/
	診療受付7	午前	住永 亮	下竹敦哉	担当医	下竹敦哉
		午後	住永 亮(アレルギー)	予防接種・乳児健診	/	下竹(発達行動外来)第2・4週

診療受付時間(予約制) 午前9:00~午前11:30 午後1:00~午後3:00 ※急患はこの限りではありません。

外来担当医表が
変更になりました



日本赤十字社
 Japanese Red Cross Society
 神戸赤十字病院

神戸赤十字病院広報誌 HAT CROSS 2016 Vol.37
 発行日 2016年6月
 発行者 神戸赤十字病院 広報委員会
 〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1丁目3番1号
 TEL (078) 231-6006(代) FAX (078) 241-7053
 ホームページ <http://www.kobe.jrc.or.jp/>